

最近の雇用失業情勢（令和7年1月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.35倍（季調値）」（前月より0.04ポイント上昇）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月より0.04ポイント上昇**。

[基調判断]

- **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が上昇しているが、一時的な動きかも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は医療、福祉等で増。製造業等で減。

[新規求人数]

当月：5,378人 医療、福祉の増員等により+115人
（前年同月 2.2%増）

[産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
 - 【医療、福祉】当月：1,184人 前年同月：+109人
 - 【サービス業】当月：629人 前年同月：+87人
 - 【建設業】：449人 前年同月：+48人
- 「減」（対前年同月比）
 - 【製造業】当月：519人 前年同月：-116人
 - 【宿泊・飲食サービス業】当月：339人 前年同月：-43人
 - 【卸・小売業】：727人 前年同月：-14人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.36倍 前年同月：+0.18P
 【米子所】当月：1.54倍 前年同月：-0.05P
 【倉吉所】当月：1.47倍 前年同月：-0.05P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.14倍（3か月連続で前年同月を上回る）
 →全国指標1.08倍（4か月連続で前年同月を上回る）

[新規求職者数]

当月：2,112人（前年同月1.6%減）